

# 令和7年度 編入学・学士入学試験

## 専門科目 : 政治経済学

第1問～第4問の4問のうちから2問を選択し、問題番号を明記したうえで解答しなさい。

第1問 19世紀のなかばごろ、それまでの古典派経済学を批判的に継承しつつ、自らを科学としての経済学とみなすマルクス経済学が登場した。このマルクス経済学の登場は、当時の資本主義経済の実態や、先進国における経済政策のあり方が、それまでのものとは大きく変化したことと、深く関係していると考えられる。この点について、説明しなさい。

第2問 いわゆる福祉国家の成立とその後の展開についてはさまざまな学説があるが、なかでも、20世紀にはいつてから、二つの世界大戦を経て、先進資本主義諸国の多くが福祉国家として確立し、20世紀の末ごろ、東西冷戦の終結をうけて福祉国家としての性格を薄めていったとみる説が有力である。福祉国家は、二つの世界大戦および東西冷戦と、どのような関係をもっていたのか、説明しなさい。

第3問 次の①と②について、それぞれ解答しなさい。

- ① 戦後日本の国土政策の変遷について、その成果や課題とともに説明しなさい。
- ② 赤字の鉄道路線に公的補助を行う根拠について、経済学的に説明しなさい。

第4問 日本では、政府の支出が収入を大きく上回る大幅な財政赤字が続き、巨額な債務残高を抱えている。このことが引き起こす問題を指摘したうえで、日本で財政再建が進まない理由を説明しなさい。